

みずほCustomer Desk Report 2025/04/18 号(As of 2025/04/17)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	142.53
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	141.92	1.1396	161.84	1.3224	0.6370
SYD-NY High	143.10	1.1409	162.50	1.3273	0.6394
SYD-NY Low	141.62	1.1336	161.27	1.3203	0.6334
NY 5:00 PM	142.34	1.1362	161.96	1.3265	0.6391
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,142.23	▲ 527.16	日本2年債	0.6500%	0.0400%
NASDAQ	16,286.45	▲ 20.71	日本10年債	1.3100%	0.0300%
S&P	5,282.70	7.00	米国2年債	3.7993%	0.0245%
日経平均	34,377.60	457.20	米国5年債	3.9408%	0.0330%
TOPIX	2,530.23	32.20	米国10年債	4.3317%	0.0520%
シカゴ日経先物	34,570.00	620.00	独10年債	2.4645%	▲0.0375%
ロンドンFT	8,275.66	0.06	英10年債	4.5715%	▲0.0345%
DAX	21,205.86	▲ 105.16	豪10年債	4.2430%	▲0.0660%
ハンセン指数	21,395.14	338.16	USDJPY 1M Vol	12.76%	▲1.46%
上海総合	3,280.34	4.34	USDJPY 3M Vol	12.20%	▲0.45%
NY金	3,328.40	▲ 18.00	USDJPY 6M Vol	11.54%	▲0.32%
WTI	64.01	2.18	USDJPY 1M 25RR	▲2.26%	Yen Call Over
CRB指数	296.38	3.68	EURJPY 3M Vol	10.85%	▲0.55%
ドルインデックス	99.38	▲ 0.00	EURJPY 6M Vol	10.77%	▲0.30%

東京	東京時間のドル円は141.92レベルでオープン。日米関税協議にて円安是正が求められると警戒されていた中で、為替が議論の対象とならなかったと伝わると円売りで反応。植田総裁や中川審議委員の発言も追加利上げに慎重と受け止められ、142円台後半まで上げ幅を拡大した。一巡後は142.40近辺まで値を下げるも底堅い推移が続き、結局142.81レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、142.81レベルでオープン。日米関税交渉を受けての円売りが一服したか上値重く推移し、結局142.58レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1358レベルでオープン。ECBの政策金利発表を控え方向感なく推移した後、結局1.1356レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された米3月住宅着工件数や、米失業保険継続受給者数が予想より悪化した事が嫌気され、市場はドル売りで反応し、141.90まで下落。しかし、その後は低下していた米金利の上昇を背景に反発し、142.71まで戻す。午後は米債券市場が短縮取引の中、142.30付近まで反落し、142.34レベルでクローズ。一方、NY市場のユーロドルは、ECBが予想通り25bpsの利下げを発表し、主要政策金利を2.50%から2.25%に引き下げた。同時に発表された声明文では「金融政策は実質的に引き締めのでなくなりつつある」との文言が削除された。続いて行われたラガルド総裁の記者会見では、「経済成長の下方リスクが増している」等と今後の追加利下げの可能性があると認識を示すも、予想通りの結果だったためか、特段ユーロ安の展開とはならず、1.1360付近を挟んだ推移が続く。午後は欧州が連休を控える中、1.1370付近で動き乏しい推移が続き、1.1362レベルでクローズ。

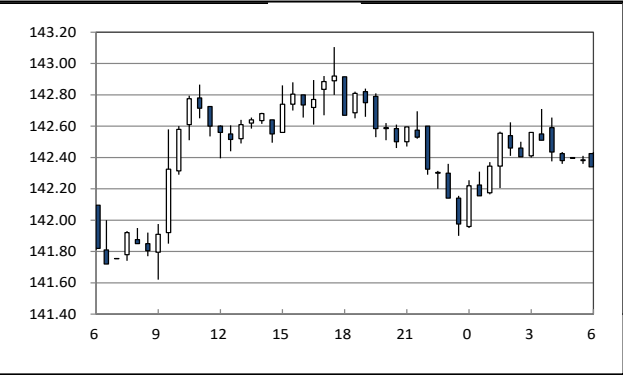
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月17日	08:50	日 貿易収支	3月 ¥544.1b	¥464.9b
	10:30	豪 雇用者数変化	3月 32.2k	40.0k
	10:30	豪 失業率	3月 4.1%	4.2%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	3月 -0.7%/-0.2%	-0.1%/0.4%
	21:15	欧 ECB預金ファシリティ・レート/主要政策金利	17-Apr 2.25%/2.4%	2.25%/2.4%
	21:30	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「政策金利の調整は『当面』必要ない」	
	21:30	米 住宅着工件数/前月比	3月 1324k/-11.4%	1420k/-5.4%
	21:30	米 住宅建設許可件数/前月比・速報	3月 1482k/1.6%	1450k/-0.6%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	4月 -26.4	2.2
	21:30	米 新規失業保険申請件数	12-Apr 215k	225k
	21:45	欧 ラルトECB総裁 講演	「経済見通しの不確実性により下振れリスクが高まっている」	

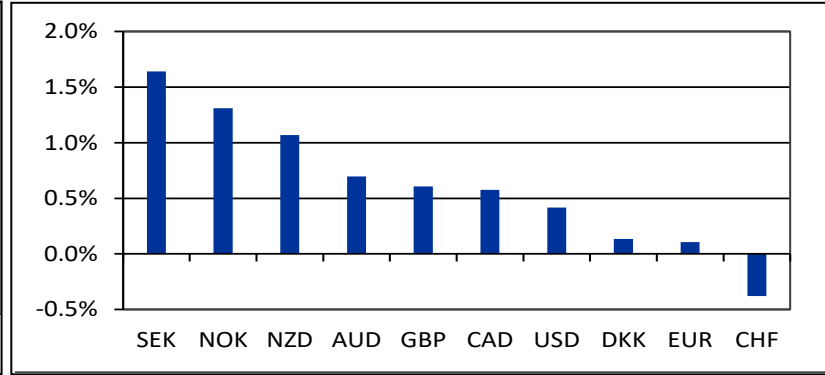
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月18日	08:30	日 全国/コア/コアコアCPI	3月 3.7%/3.2%/2.9%	3.7%/3.0%/2.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.00-143.50	1.1250-1.1420	161.30-163.00

【マーケット・インプレッション】

今週に入りドルインデックスはおおむね横ばいで推移しており、米国資産離れを抛り所としたドル売りの動きは一服した格好となっている。また日米の関税交渉において、為替についての協議はなかったとのコメントが伝わったことでドル円が急速に反発したことや、IMM通貨先物のポジションに鑑みるに、ドル円のポジショニングはかなりショートに偏っていると思われ、足元の水準での対空時間が長くなれば、自律反発的な動きも見込みやすい。関税交渉のヘッドラインリスクは引き続き注意を要するが、目先はドル円ロングがワークしやすいと見ている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。